おまめの豆本づくり sample

柴田尚美

世界に1冊の「私だけの本」をつくりましょう

女の子はみんな、小さなものが大好きです。
それは大人になってもいっしょ。
はじめておまめさんの豆本にふれたときの、ときめき。
それを、自分の手でつくりだせるなんて。

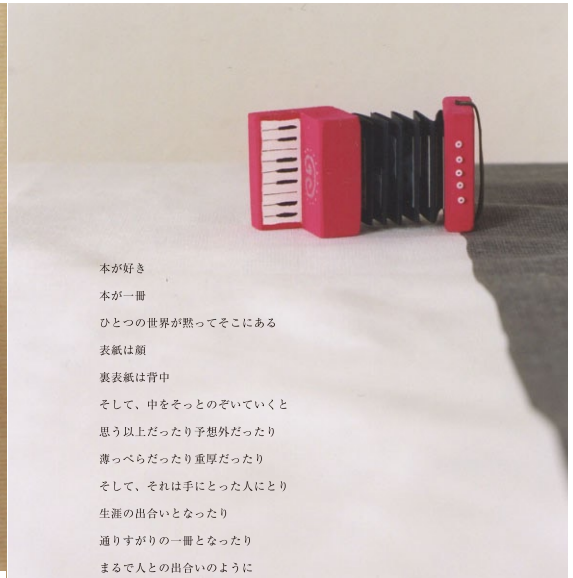
イラストレーター　杉浦さやか

豆本作家「おまめ」こと柴田尚美さんの、初めての豆本づくり指南書。　白泉社　定価1680円（税込）

「おまめ」の名前で全国各地で豆本教室を開いている柴田尚美さんが、
豆本・豆箱の作り方をわかりやすく解説。
詳しい手順写真で、初心者でも半日で「私だけの1冊」が完成します。
すぐに作れる付録豆絵本「雨の日のマチコさん」つき、また
中～上級者向けに、オリジナルアレンジで豆本を作る場合の寸法解説つき。

作れる豆本・豆箱は全14種類

豆アルバム、豆絵本、豆ノート、クリスマス豆本、観音開き豆本、和綴じ豆本・四つ目綴じ、高貴綴じ、麻の葉綴じ、亀甲綴じ、豆巻物、豆飾り箱、豆夫婦函、豆帙、豆箱帙



本が好き
本が一冊
ひとつの世界が黙ってそこにある
表紙は顔
裏表紙は背中
そして、中をそっとのぞいていくと
思う以上だったり予想外だったり
薄っぺらだったり重厚だったり
そして、それは手にとった人にとり
生涯の出合いとなったり
通りすがりの一冊となったり
まるで人との出合いのように
その計りしれないところが
好きなのかもしれない

おまめ　柴田尚美

Profile

柴田尚美　Naomi Shibata (omame)

1965年大阪府生まれ。浪速短期大学グラフィックデザイン科を卒業後、会社勤めを経てフリーのイラストレーターに。1993年頃より豆本制作を始め、その後各地の市民講座やイベントなどで豆本制作講師として活躍。豆本講座の他にも、店舗「おまめ部屋」（現在お休み中）、小冊子「ペーパーomame」発行、hp「おまめ」運営など、「おまめ」の名前で幅広く活動中。

左写真／アコーディオン豆本。折本（p10）のアレンジ。

目次

豆本作りを始める前に ―― 4

豆折本・豆洋本（上製本・変形本） ―― 8
豆アルバムの作り方 ―― 10
豆絵本の作り方 ―― 14
豆ノートの作り方 ―― 18
クリスマス豆本の作り方 ―― 22
観音開き豆本の作り方 ―― 26
和綴じ豆本・豆巻物 ―― 30
和綴じ豆本・四つ目綴じの作り方 ―― 32
和綴じ豆本・高貴綴じの作り方 ―― 36
和綴じ豆本・麻の葉綴じの作り方 ―― 38
和綴じ豆本・亀甲綴じの作り方 ―― 40
豆巻物の作り方 ―― 42
豆箱・豆帙 ―― 46
豆飾り箱の作り方 ―― 48
豆夫婦函の作り方 ―― 52
豆帙の作り方 ―― 56
豆箱帙の作り方 ―― 60

オリジナル豆本の寸法 ―― 64

豆本の話 ―― 67
豆本との出合い・おまめ部屋 ―― 68
豆本講座・豆本講座（地方編） ―― 69
豆本展 ―― 70
ペーパーomame・豆本キット ―― 71

付録豆絵本「雨の日のマチコさん」 ―― 72

豆絵本の作り方

「本」としてのイメージの一番多いのが、この製本方法。
誰もが幼稚園で作りたくて、出来上がりに感激するのもこの製本ですよ。

サクラ貝豆絵本仕上がり寸法
縦40mm　横50mm　背幅8mm

材料
中身用紙　5枚、見返し用紙　2枚
ポール紙　5枚
（表紙用1枚、裏紙用1枚、背用1枚）
糸　1枚、栞台紙　1枚
花布　2枚、しおり　1本

1. 中身作り

中身用紙を中折に三つ折りにします。見返し用紙も同様に二つ折りに。

2. 中身ののり付け

中身を重ね山幅でのり付けします。見返しを中身の両端に貼ります。

ここは塗らない

5. 花布貼り

花布に糸ドをつけ、芯の部分を天地に出して背の上部と下部に貼ります。その後1時間くらい プレスします。

芯だけが背の外に見えるように。

6. 表紙作り

表紙の裏伝体に三のり を塗り、表表紙、背、裏表紙の ポール紙を 図にしたがって貼ります。

あらかじめ表紙に部分をとってポール紙の位置

9. 角の処理

左右の角を爪でみ上げ側に折り込み、天地と同様に左右もポール紙に沿わせて貼り付けます。

表紙に見えない処理にしてやしなければ。

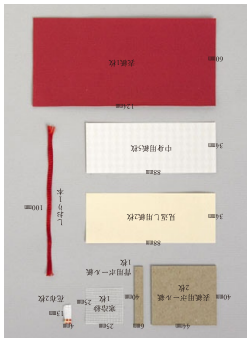
10. 表紙と中身の装本

ポール紙の溝に糸ドを少し盛るように塗り、中身をはさみます。

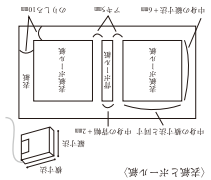
中身の背と背ポール紙に隙間があいたら。

サクラ貝豆絵本の寸法

以下の材料（見返し用紙以外）はかず、中身のサイズを表紙の中身ぴったりに後で寸法出しして ください（中身が幅ムだけ すると方）。
・見返し用紙　中身と同寸
・栞台紙　縦…中身の縦寸法－10mm
・花布　縦…中身の背幅＋20mm
・しおり　中身の背幅に カット
・しおり　豆絵本の仕上がり寸対角線より少し長め



〈表紙と本ール紙〉



1. 中身作り

中身用紙　5枚
本ール紙　3枚
（表紙用1枚、裏紙用1枚、背用1枚）
糸　1枚、栞台紙　1枚
花布　2枚、しおり　1本

2. 中身ののり付け

中身を重ね山幅での り付けします。見返しを中身の両端に貼ります。

5. 花布貼り

花布に糸ドをつけ、芯の部分を天地に出して背の上部と下部に貼ります。その後1時間くらい プレスします。

芯だけが背の外に見えるように。

6. 表紙作り

表紙の裏伝体に三のり を塗り、表表紙、背、裏表紙の ポール紙を 図にしたがって貼ります。

あらかじめ表紙に部分をとってポール紙の位置

9. 角の処理

左右の角を爪でみ上げ側に折り込み、天地と同様に左右もポール紙に沿わせて貼り付けます。

表紙に見えない処理にしてやしなければ。

10. 表紙と中身の装本

ポール紙の溝に糸ドを少し盛るように塗り、中身をはさみます。

中身の背と背ポール紙に隙間があいたら。

3. 背の細線

背に糸ドをのり込み、栞台紙を中央に貼ります。

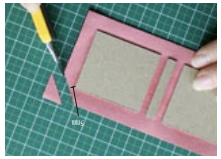
4. しおりつけ

しおりの先に糸ドを塗り、背の上部に貼ります。

中身が先に青いとあと始末は上下を間違わないように。

7. 四隅のカット

四隅を本ール紙の角から5mm残し三角にカットします。



5mm

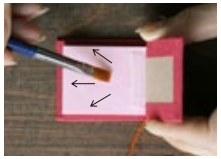
8. 表紙の貼り込み

表紙を天地から先に本ール紙に沿わせて貼り付けます。

11. 溝の処理

表紙の上から、ポ ンを塗った溝をヘラや定規で押さえます。

でこしこしやないで、押さえるようにしっかりと。

12. 仕上げ

溝が開かないように押さえるから表紙を開き、見返し全体にのりを塗り表紙を閉じて貼り合わせます。もう片方の表紙も同様に。その後1時間以上プレスをします。